

# 奎文堂 閉店



十二月号  
2025.12.19

発行  
膳高  
膳所高校新聞班

## 121年の歴史に幕

膳所高校前の書店・奎文堂が12月30日に閉店する。新聞班は、閉店前の12月8日に店主の久保泰幸さんに閉店の理由や苦悩取材した。



▲12月30日に閉店する奎文堂。

閉店後は解体される予定。向きの参考書や大学の過去問などの品ぞろえが豊富な。売られている本の総数は合わせて1万冊を超えるという。また、久保さん

店主の久保泰幸さんを含む5人で経営している。店舗自体は30坪ほどだが、主要な客層である膳所高校の向きの参考書や大学の過去問などの品ぞろえが豊富な。売られている本の総数は合わせて1万冊を超えるという。また、久保さん

店内には各種の教材が並ぶ。奎文堂は明治37年創業の地域に根ざした小さな書店だ。創業者は「膳所高校に本を売ってあげたい」という思いから店を始めた。現在奎文堂は4代目

店内には各種の教材が並ぶ。



は4、5年前から閉店が頭によぎっていたが、閉店を決意したのは去年のことだそう。これまで奎文堂は膳所高校に年度当初の教科書販売や、ワーク

などの教材や小論文の課題図書の販売も担っていた。それだけに、この閉店に伴う膳高への影響は大きい。2面 膳高支えた奎文堂

### -目次-

- 2面 膳高支えた奎文堂
- 3面 秋季大会結果総覧
- 4-8面 障スポ関連の記事
- 9面 A Locked Room After School
- 10・11面 新聞班活動報告
- 12面 芸術鑑賞・編集後記

# 障スポ 滋賀県で開催

2025年11月25日から27日までの3日間、滋賀県で「わたしが開催された。新聞班はポッチャと車いすバスケの選手取材した。

障スポが滋賀で行われるのは、1981年の「びわこ国体」以来44年ぶりのことだ。ポッチャ・車いすバスケの両会場では熱い応援が目立った。

また、車いす用の観覧席が設けられるなど会場のバリアフリー化が進められており、どんな人でも楽しめる障スポになってきた。来年の障スポは青森県で開催されることが決まっている。今回の障スポを機に、障がい者スポーツがさらに発展することに期待する。



▲会場に設置された横断幕

関連記事 4〜9面

# 膳高支え続けた 奎文堂

## 閉店「断腸の思い」

久保さんは「そもそも、奎文堂は膳所高校に教科書販売をしてあげたいという思いで初代店主が始めた店である。現在は膳所高校のほか、中学校5校、小学校7校にも教科書販売を行っている。そのため、閉店の決断は、

断腸の思いだった」と語る。奎文堂は膳所高校の教科書販売を100年以上続けていた。それは地元で馴染もうとする強い思いが歴代店主にはあったからである。新年度の教科書販売は、3月下旬から4月に

かけて行われる。そのため、奎文堂では毎年2月ころから教科書販売の準備を始めていた。久保さんは「1年分の教科書を2、3か月で準備をしないといけないので、大変だった」と話した。



▲取材を受ける奎文堂4代目店主・久保泰幸さん

教科書販売に力を入れてきた奎文堂だが、そのことが今回の閉店の原因にもなっている。久保さんは「教科書販売の準備は忙しいので、学生アルバイトをその時だけ雇っていた。しかし、最近は学生アルバイトが集らなくなってきた」と語る。これまででは学生アルバイトが集まっていたが、

1年を通してのアルバイトではないということも影響したそうだ。また久保さんは「後継者がいかなかったことも原因の1つだ」と語っていた。長い間教科書販売店であったからこそ、教科書を学校に供給できなくなるのは避けたいという思いがあり、今回の閉店に至ったのである。

### 「人手不足」が

### 閉店の原因



本のことなら  
**久保奎文堂**  
膳所高校前 TEL24-3535 24-9863

▲かつての膳高新聞に掲載された奎文堂の広告



▶1923年の奎文堂

### 今後の膳高の教材は…

来年以降、大津市にある滋賀教科図書販売（滋賀教販）が教科書やワークなどの教材類を販売する予定。

### 部説

### ならば奎文堂

膳所高校の一部ともいえる久保奎文堂がその歴史の終焉を迎えた。地域の書店として学校を支えてきた奎文堂の閉店は、多くの膳所高校にとって悲しむべきことである。▼長年学校に教材を販売してきた奎文堂の閉店。今後の教材の購入に影響が出ることは避けられない。今後の動向を注視していきたい。

# 数ミリが勝敗分かつ繊細さ

10月27日、新聞班は甲賀市水口体育館で開催された障スポのポッチャ競技を取材した。

ポッチャとは先攻と後攻がそれぞれ赤と青のボールを6球ずつ投げ、ジャッジボールと呼ばれる白いボールにいかにな近づけるかを競うスポーツだ。選手は一人で戦術を練る頭脳戦が特徴で、数ミリのずれが勝敗を分ける繊細な競技でもある。

ボールはソフトボールほどの大きさで少し柔らかい。

写真左下 障がいの種類によってさまざまな投げ方が許されており、障スポでは手のほかに足や専用のレーンを使って投げている選手がいた。

写真右下

ポッチャ競技は甲賀市水口体育館で開催された。医療・総務・報道など、選手以外にも多くの人がかかわる大会で、観客も多く来場していた。試合は3コートでそれぞれ行われ、選手らが真剣な様子で丁寧に一球一球を投げていた。よいプレーが出たときは観客席から拍手や歓声が上がっていた。

写真左下



▲プレーする選手。一球一球が繊細な操作だ。



▲ポッチャのボール。実際に持ってみると少し柔らかい。



湖国の感動 未来へつなぐ  
わたSHIGA輝く  
国スポ・障スポ2025

▲2025 わたSHIGA輝く国スポ・障スポマスコットキャラクターキャプティン・チャップリン

# 出す一球

## 投げ方のいろいろ

ポッチャ専用の勾配具(アンプ)を使ってボールを投げる様子。障がいによりボールを投げられなくても自らの意思で競技に参加できる。

手でボールを投げる様子。ポッチャではルール上、上投げ・下投げ・ボールを蹴ることのすべてが許されている。

今回取材させていただいた上林一生さん(右)と岸本和明さん(左)。この大会で優勝して笑顔を見せた。



会場の様子。多くの観客でにぎわう。



# 障がいがあっても 挑戦する喜びを



▲取材に応じる上林さんと岸本さん

今回新聞班は滋賀県代表の選手である上林一生さんと岸本和明さんに取材させていたことができた。

——大会を終えられてどうですか。

上林さん…1位を取れてよかったです。

——よいプレーが出たときは拍手・歓声が上がっていました。

上林さん…きょうはよかったです。

——失礼ですが、どう

いった障がいをお持ちですか。上林さん…先天性の脳性まひです。

岸本さん…生まれつき右足が動きません。

——この競技を始めたきっかけは何ですか。

上林さん…高校1年生の時、特別支援学校の(先生に声をかけられ)チームを作った(ことがきっかけ)。

岸本さん…ボッチャができると聞いてはじめた。

——得意技は何ですか。上林さん…ないです。

——苦手な技なら…ボールが

続くととき一球で

きれいにはじく

のが難しい。

岸本さん…(ボールを)寄せる

(技)。

——この大会の結果を、誰に伝えたいですか。

上林さん…(もう亡くなっているが)チームのキヤプテンだった

江川琢馬さんに伝えたい。

岸本さん…

江川さんに伝えたい。

——どんなときにやりがいを感じますか。

上林さん…プレーがうまくいったときです。

岸本さん…今まででなかでできなかったプレーができるようになるなど、上達したとき。

——ボッチャの魅力とはなんですか。

上林さん…障害のあるなしに関わらず、だれもができること。

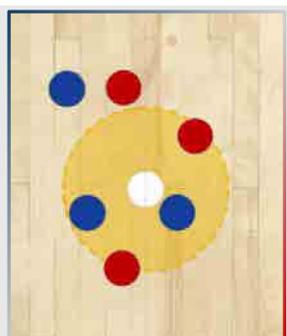
岸本さん…(答えることが難しいほど魅力がある様子)

——ボッチャをもっと知ってもらうには何が必要ですか。

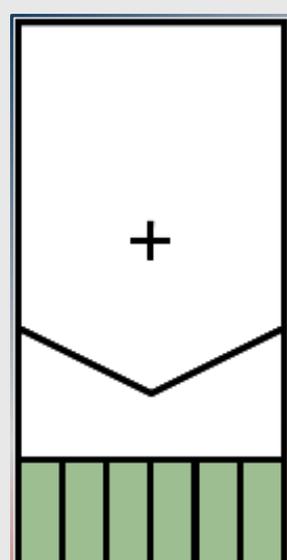
上林さん…テレビなどで見てもらう。特別支援

## 正確さで得点競う ボッチャのルール

青のボールが2つジャグボールに近く、青に2点が入る。



ボッチャでは、まず先攻のチームがジャグボールと呼ばれる白いボールを投げる。ジャグボールとは、赤や青のボールを近づける目標で、ボールの近さによって得点が決まる。次に、先攻のチームが赤のボールを投げ、次に後攻のチームが青のボールを投げる。これ以降は順番に投げるのではなく、ジャグボールに遠いチームが投げていく。すべてのボールが投げられるまでが1エンドだ。最後によりジャグボールに近いボールの数によって得点が入り、2エンド終了時のチームの合計得点で勝敗が決まる。



▶専用のコート。緑で示された位置からボールを投げる。

## 状況見極め

# 車いすバスケットとの出会い

## 事故が原因で車いすバスケットの道へ進むことに

10月25日から10月27日の3日間行われた第24回全国障害者スポーツ大会(障スポ)に車いすバスケットで出場した、横江翔平(よこえしやうへい)さんと石田大也(いしだまさや)さんに取材を行った。



取材を受ける横江翔平さん(右)と石田大也さん(左)

横江翔平さん 写真は、4歳の時にコンバインに足を巻き込まれ、左足を切断して以来、車

いす生活をしていく。元々、バスケットボールが好きで、NBAをよく見ていたという横江さんは、高校で「リアル」という車いすバスケットボールを題材にした漫画に出会い、車いすバスケットボール

に興味を持ち始めたという。

その後、横江さんは車いすバスケットボールができる場所を探していた。すると、県内で唯一の車いすバスケットボールのチームだった、「LAKE SHIGA B.B.C」の選手に声を掛けられ、車いすバスケットボールを始めることを決意したそう。

### 車いすバスケットの魅力は五感で感じられること

横江さんは、「目だけではなく、激しくぶつかり合った音や歓声、タイヤの焦げたにおいなど、五感で伝わるところが、車いすバスケットボールの魅力」だと語る。タイヤの焦げたにおいは、車いすバスケットボールならで

はの魅力であろう。また横江さんは、「男女が一緒にプレーできる」ということも、魅力として挙げていた。「車いす」に載っているからこそ、身長や体格などに影響されずプレーできるのは、健常者のバスケットボールにはない面白い点だ。

### 今後は後輩の育成にも力を入れたい

横江さんはバスケット歴が20年以上を超える。それゆえ、ベテランプレイヤーになりつつあるというだ。

そのため横江さんは「これからは、チームに入ってきた若い子たちに自分が経験したことや、トレーニングの仕方を伝えていきたい」と語っていた。若い世代とベテラン世代をつなぐのが、新たな横江さんの役割なのだ。

# 人生の転機・高校時代の

学校での講演で  
車いすバスケットに興味

石田大也さんⅡ6面写  
真左Ⅱは生まれつき、車  
いす生活をしている。

「車いすバスケットボー  
ルに興味を持ったのは高  
校一年生の3月ごろ」だ  
という。レイク滋賀に所  
属している選手が高校に



講演会に来たことがきつ  
かた。

そこで車いすバスケット  
ボールという競技の存在  
を知り、体験に行った  
そう。

そんな石田さんは今や  
チームの一員としてコー  
トでプレーしている。石  
田さんは「自分のような  
若い選手と横江さんのよ  
うなベテランの方で力を  
合わせて天皇杯で優勝し

たい」と意気込んでいた。  
今後の石田さんの成長と  
活躍にも注目だ。

車いす同士の  
ぶつかり合いは恐怖

車いすバスケットボー  
ルでは、車いす同士のぶ  
つかり合いがよく起こる。  
どちらもスピードを出  
しているの、ぶつかり  
合ったときの衝撃は大き  
い。車いす同士がぶつか  
っているのを観客として  
見るだけでも恐怖を感じ  
るほどだ。今回の障スポ  
でも、ぶつかり合って転  
倒しそうになる場面も多  
く見られた。

そのことに対して、横  
江さんは「最初に車いす  
に乗ったときは、コケる  
んじゃないかなと怖かつ  
た」と語る。

しかし、競技で使う車  
いすには、後ろに転倒防  
止用のキャスターがつい  
ているため、「ある程度大  
衆を乗っけても倒れない」



▲実際に協議で使用されている車いす

そう。またタイヤが八  
の字になっているので、  
指が挟まる可能性も低い  
らしい。

だが、怖いものは怖い  
ようで、石田さんも「試合  
中に全く恐怖心を感じな  
い」というわけではない

ようだ。

横江さんは克服したき  
っかけは「ぶつかってこ  
けたとき」だと語る。トレ  
ーニングを積んで、ぶつ  
かることになれることで  
恐怖心を捨て、全力でプ  
レーできるのだ。

# 「すべて」の人が楽しめる車いすバスケット

## 車いすバスケットにダブルドリブルなし

### 一歩一文

ドジャースがワールドシリーズで優勝したことが、連日テレビで報道されている。私も日本人として、日本人メジャーリーガーの活躍を誇らしく思っている。だが、その一方で日本のプロ野球の話題は聞かない。私はプロ野球ファンであるため、日本のプロ野球ファンも増えてくれることを切に祈っている。

また滋賀県では障スポが開催されていた。障がい者スポーツは、マイナーだとされることもある。しかし、障がい者スポーツだからこそその魅力も存在する。私たちがいろいろな障がい者スポーツに触れることで、障がい者スポーツにスポーツの発展に貢献できると私は思う。



#### クラス4.5

- ・軽度の脊髄損傷など、全方向に安定して動くことができる。
- ・攻守ともにチームの中心となる選手

#### クラス3.0

- ・脊髄損傷など、前方に安定して動くことができる。
- ・側面への動きはコントロールすることが難しい。

#### クラス1.0

- ・重度の脊髄損傷の選手が該当する。
- ・車いすに深くもたれる必要があり、コントロールが難しい

#### ▲車いすバスケットの持ち点について

車いすバスケットボールのルールは非常にバスケットボールと似ている。コートやボールリングの高さは同じだ。しかし、車いすバスケットボールならでは「持ち点は14以内でないといけない」というルールがある。持ち点は1.0から0.5点刻みで4.5点まであり、障害が重いほど点数が低くなる。石田さんは取材中に「特に点数の高い選手とぶつかるのは怖かった」と語っていた。

いた。

そのことを利用して、持ち点の低い選手が持ち点の高い選手をマークして、実質的にチームにアドバンテージをもたらすのだ。

という戦術もあるそうだ。バスケットボールとは違うルールだからこそその駆け引きや戦術も車いすバスケットボールの魅力なのだ。

## バリアフリー化が進んだ会場

車いすバスケットボールが行われたのは、体育祭でも使用したダイハツアリーナである。体育祭の時にはなかった「車いす利用

者観客席」というのも臨時的に設置されていた。実際に利用している車いす利用者も多く、すべての人が楽しめるような工夫がされていたのである他の会場でも様々なバリアフリー化が実施されている。



▶会場に設置された「車いす利用者観客席」の位置を示す掲示

「障スポだから」ではなく、車いすに乗った人もそうでない人も、同じ会場で一緒に観戦できる社会になる社会はもうすぐそこまで来ているのかもしれない。

# A LOCKED ROOM AFTER SCHOOL

## —放課後の密室—

Copilot を用いて作った物語を新聞班の1年生が英訳してお届けする推理小説です。(ミスはお許してください)

### ・ Chapter 1 — The bell remained silent—

The leaves were waving in the breeze in the afternoon. In Sakuraoka high school, which is private school, the preparation for its school festival was over. Kamiya reina is a student council president in this school. She was doing final check on “Mystery Escape Game.” It was main event of this school festival. It was going to hold in a classroom of the old school building. If someone locks the room, no one can open it from inside. However, no one expected to happen a real incident.

### ・ Chapter2—Scream In the locked room—

The first day of school festival, everyone heard scream from the locked room of the old school. It was right before the school festival began. The student rushing there saw a boy lying on the floor. He was Todo Yuma, who is a star performer of the drama club. He was unconscious. The door was locked from inside. Until the police came to school, all students had been devastated. However, Reina had felt strange. The door was supposed to be locked, but the lock was not in the right position. In addition, he had strange note in his hand. Also, there was a pen that looked familiar.



To be continued...

#### Useful vocabulary

Breeze: ㊦そよ風 ㊧楽々進む ㊨楽々と好成績を上げる

Council: ㊦議会, 協議会, 会議

Incident: ㊦(不愉快な)出来事, 事件(暴力的なことも), 紛争 ㊧形入射する, 投影する

Scream: ㊦叫び声, 悲鳴, 甲高い声 ㊧叫ぶ, 騒ぎ立てる ㊨ヒステリックに…と伝える



key

言い方が違う



lock

# 新聞班の秋

この面では取材や研修会、大会での実績など、主に新聞班の活動について紹介する。

新聞班はこの秋、32号を含めて本誌2紙と速報紙5枚を発行した。11月7日に南草津での秋季生徒研修会に参加した。また、11月22・23日の2日間、近畿高等学校総合文化祭の新聞部門に参加した。



▲障スポでは、甲西高校さんと合同取材をさせていただきました。

## 学び多き研修会

in 南草津

▲交流新聞づくりのためにメモを取る。



▶この日講演していただいた松山高校の矢野悠季先生



11月7日、草津市立市民交流プラザで新聞部の秋季生徒研修会が開かれた。

研修会では、学校が別々の5人から6人ほどの班に分かれて、その日集めた情報をもとに手書きで新聞を作成する。この日は全国高校新聞年間紙面審査賞で3連覇を達成した松山高校新聞部の顧問である矢野悠季先生が講演をされ、県内の

新聞部員で班ごとに紙片面の手書き新聞を作った。取材を通して180人以上の部員を抱える松山高校新聞部の勧誘方法や、紙面作成の分業など今後の新聞づくりの参考になる見識を得られた。

また、締め切り時間の設定は厳しく、記事を書き上げるのは大変だったが、その日出会った仲間と新聞を作り上げる達成感は深いものだった。

## 30号が快挙!

### 新聞班活動実績

膳高新聞30号が第2回全国高校新聞コンテストで上位12校の銀賞に輝きました。

また、膳高新聞31号がこの秋の滋賀県高等学校学校新聞コンテストに3位で入賞し、来年の全国総文の出場が決まりました。また、新聞の秋の大会にあたる秋季生徒研修会に参加しました。11月下旬には近畿総合文化祭新聞部門に参加しました。

▲われらが「膳高新聞」



### 班員募集中!

新聞班は現在1年生6人で活動しています。

人数が少ないので、入班歓迎です。班員が多ければ多いほどよりよい新聞になります。あなたも私たちと一緒に新聞を作りませんか。



# 鳥取総文で見識深める

11月22・23日、鳥取県で近畿総合文化祭新聞部門が開かれた。滋賀県からは膳所高校を含む5校が出場した。



▼▲会場の様子。

▲記念撮影！



◀◀▲勝負のとき！

新聞部門は二日間の開催。手書きの交流新聞を作成する研修会では学校や県が統一されていない5人の班に分かれる。まず、1日目にそれぞれの班が3つのコースに分かれて取材をし、レイアウトなどを考える。2日目に取材した内容を班員で協力してA3一枚の手書き新聞

に仕上げる。最後に審査員の方に講評をいただいて終了した。新聞の研修会は毎回締め切り時間の設定が厳しい。時間内に仕上げる技量が求められるが、



▲同じ電車に乗り合わせた虎姫高校と倉吉駅に到着

## 近畿総文 鳥取の旅



▲ホテルでくつろぐひととき



▲ご飯は鳥取名物の牛骨ラーメン！

◀お土産を片手に帰路につく。

▶「手書き」とはこういうことです



中にはホテルに担当する記事を持ち帰って仕上げる人も多かった。僕もその一人です  
完成した新聞⇒写真左⇒

## 取材

私は倉吉市の白壁土蔵群⇒写真右中央⇒と円形劇場⇒写真右上下⇒を取材しました。白壁土蔵群では江戸時代から続く歴史的な街並みを見ることができました。円形劇場では人形づくりの体験⇒写真右下⇒をさせていただきました。



▶白壁土蔵群  
▲円形劇場



# 必死で仕上げた手書き新聞

# 音楽の深み愉しむ 芸術鑑賞

10月24日、滋賀県立芸術劇場琵琶湖ホールにて芸術鑑賞会が開催された。

ヴァイオリン奏者の玉井菜採さん、チェロ奏者の佐藤晴真さん、そして、世界的なピアニスト

▲アンコールに応じる久末さんら



で、本校の卒業生でもある久末さんが計14曲を演奏された。また、本校生徒の高木悠さん(3-6)がヴァイオリンを演奏した。

久末さんは膳所高校卒業後の7月に、ドイツの音楽大学に進学され、

この時にピアノの道に進む決意をされたのだそうだ。また、コンサートの締めくくりには「皆さんが静かに聴いてくれて楽しい演奏になりました。室内楽の世界は奥深いです。これをきっかけにぜひ興味をもってもらえたら」と話された。

## 編集後記

膳高新聞32号をお読みいただきどうもありがとうございます。2025年も残りあって、28面の膳高新聞31号の発行やわずかととなり、冬の寒さが一層厳しくなってきました。皆さんは今秋をどのように過ごされたでしょうか。▼いまこの秋を振り返ると、秋季研修会や障スポでの甲西高校さんとの合同取材、近畿総文など、他校との関わりを持たせていただけれる機会の多い期間だったと感じます。特に近畿総文では、滋賀県以外の高校の新聞作成の工夫や、記事における見出しの重要性を知ることができ、とても勉強になりました。これからの新聞づくりを生かしていきたいです。

新聞班一同

膳所高校 新聞班



2025.12.19

## あなたは大丈夫？

更衣室の忘れ物

年末に「全て処分」

◀ユニフォームや靴などの忘れ物の山



上の写真を見てほしい。更衣室にあった忘れ物の山である。「年末に全て処分される」とあるので、心当たりのある人は年内に見に行こう。